

アサヒグループホールディングス(株)

<https://www.asahigroup-holdings.com/csr/environment/policy.html> (1)
<https://www.asahigroup-holdings.com/csr/environment/preservation.html> (2)
<https://www.asahibeer.co.jp/csr/seges/> (3)
https://www.asahigroup-holdings.com/csr/asahi_forest/ (4)



(1)



(2)



(3)



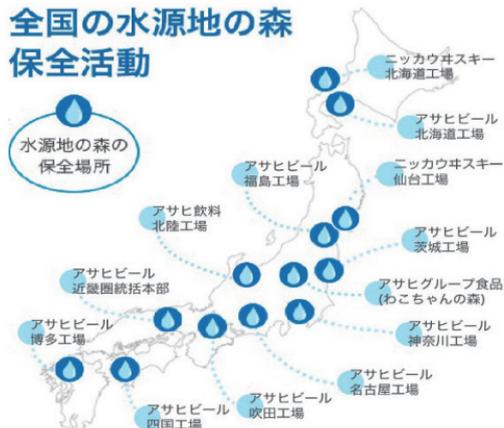
(4)

《将来に向けた取組方針》

アサヒグループは、水や農作物など「自然の恵み」を享受して事業活動を行っています。私たちは、より豊かな「自然の恵み」を守り、育み、生物多様性に配慮した事業活動を実践していくため、生物多様性保全活動の基盤となる考え方や方針をまとめ、「生物多様性宣言」を2010年3月に策定・公表しております。この度「Asahi Group Philosophy」の施行に伴い、「アサヒグループ環境基本方針」の見直しと、新たな「アサヒグループ環境ビジョン2050」を策定しました。重点施策の1つとして、**2025年、国内ビール工場の「ウォーターニュートラル」の実現を目指すとともに**、国内工場における水源地の森林保全活動を拡大し、グループ全体で生物多様性に配慮した活動を推進して参ります。

●アサヒグループの水源地の森保全活動

全国の水源地の森保全活動



「水」は、アサヒグループの事業に欠かすことのできない大切な資源です。そのため、アサヒグループでは、持続可能な水資源を守ることをCSR重点テーマのひとつに掲げ、水をはぐくむ森の保全活動を積極的に行っています。

●アサヒビール神奈川工場がSEGESにて最高認定を取得



2002年工場竣工より、場内から移植した常緑樹のシラカシ、落葉樹のコナラ、植栽したメタセコイア、アシガラザクラなどの樹木は、順調に育成しています。緑地管理では、植栽した樹木の養生管理だけでなく、動植物・昆虫類の生態系を含めて幅広く全体に配慮した管理を心がけています。「アサヒビオガーデン」という5万㎡の広大なビオトープを整備し、18種類、1,600本のサクラなどを高密度で植栽することで、特徴ある景観形成を実現し、サクラの観光名所・地域のシンボルになることをめざしています。

●アサヒグループの社有林「アサヒの森」の持続可能な森林経営と生物多様性について

アサヒの森
生物多様性の保全
基本方針

※広島県庄原市と三次市に広がる「アサヒの森」

これまでのアサヒの森保全活動やモニタリング調査の結果を踏まえ、生物多様性宣言への取組みとなる3つの方針と10の取り組み「生物多様性の保全基本方針」を策定し、今後の活動指針としてまいります。



生物多様性レポート



アサヒの森の生物多様性における特徴の把握と評価のため、これまで数次にわたって植生・生態系モニタリング調査を行っています。